

開設の目的・概要 等

- ① インフルエンザ感染の罹患率が高く、ワクチン等の効果が低い小児を対象として、二酸化塩素ガスを放出するゲル剤「クレベリン」を使用することで、主にインフルエンザの罹患者数やインフルエンザに起因する小学校の欠席日数、学級閉鎖の発生数等に対する影響を臨床研究により調べことで、ワクチン投与や標準予防策に加えて低濃度二酸化塩素ガスの必要性と有用性を検証することを主たる目的とする。また、インフルエンザ以外の感冒や感染性胃腸炎に対する感染予防の検証も副次的な目的とする。
- ② 新生児の感染症対策について、早産児や低出生体重児がケアされるNICUのクベースの日常的な清拭による洗浄と殺菌、次の新生児が使用する前に行うターミナル洗浄と殺菌において、クベース内の細菌検査を行い、これら洗浄と殺菌に二酸化塩素ガスによる殺菌を追加した場合の細菌種や細菌数の減少効果への有効性を検証することでクベースの二酸化塩素ガスによる殺菌方法の重要性を検証することも目的とする。

区分	番号	学位論文	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年; 巻(号): ページ番号	国際共同
英文原著	1		Niizuma T, Obinata K, Kinoshita K, Shimizu T.	Pertussis transmission in a hospital office that was confirmed on the basis of loop-mediated isothermal amplification.	Juntendo Medical Journal,2021;67:355-359.	
英文原著	2		Horigome A, Hisata K, Odamaki T, Iwabuchi N, Xiao JZ, Shimizu T.	Colonization of supplemented bifidobacterium breve M-16V in low birth weight infants and Its effects on their gut microbiota weeks post-administration.	Front Microbiol,2021;12:610080.	
英文原著	3	*	Miyata E, Kudo T, Ikuse T, Tokita K, Arai N, Oka I, KyodoR, Sato M, Hosoi K, Jimbo K, Aoyagi Y, Ohtsuka Y, Shimizu T.	Eradication therapy for Helicobacter pylori infection based on the antimicrobial susceptibility test in children: A single-center study over 12 years.	Helicobacter,2021;26:e12764.	
英文原著	4		Miura M, Shimizu H, Saito D, Miyoshi J, Matsuura M, Kudo T, Hirayama D, Yoshida M, Arai K, Iwama I, Nakase H, Shimizu T, Hisamatsu T.	Multicenter, cross-sectional, observational study on Epstein-Barr viral infection status and thiopurine use by age group in patients with inflammatory bowel disease in Japan (EBISU study).	J Gastroenterol,2021;56:1080-1091.	
英文原著	5		Hatanaka N, Xu B, Yasugi M, Morino H, Tagishi H, Miura T, Shibata T, Yamasaki S.	Chlorine dioxide is a more potent antiviral agent against SARS-CoV-2 than sodium hypochlorite	J Hosp Infect, 2021;118:20-26.	
英文原著	6		Ogata N, Miura T.	Inhibition of the binding of variants of SARS-CoV-2 coronavirus spike protein to a human receptor by chlorine dioxide	Ann Pharmacol Pharm, 2021; 6: 1199.	
英文原著	7		Ogata N, Miura T.	Effect of chlorine dioxide gas on the binding of SARS-CoV-2 coronavirus spike protein to a human receptor	Ann Pharmacol Pharm, 2021; 6: 1202.	

区分	番号	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文総説	1	Obinata K.	Examination of preventive effect and safety of chlorine dioxide on nosocomial pneumonia.	Impact,2021;2021:37-39.	
区分	番号	著者名	論文名	掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
和文総説	1	久田研.	【最新版ICTのための新型コロナウイルスパーフェクトマニュアル 指導&研修に使える!】(第10章)施設別の注意点とトラブル例 小児病棟・小児病院.	INFECTION CONTROL,2021;2021夏季増刊 : 249-255.	
区分	番号	発表者名	発表タイトル (題目・演題・課題等)	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	新妻隆広, 米山俊之, 石川有希美, 嶋泰樹, 織田久之, 大日方薫, 清水俊明.	反復性大腸菌性髄膜炎乳児例における腸内細菌叢の経時的検討.	第17回日本小児消化管感染症研究会, Web開催.2021.2.6.	
国内学会発表	2	新妻隆広, 大日方薫, 清水俊明.	COVID-19後に発症した川崎病の2例.	第53回日本小児感染症学会総会・学術集会, ハイブリッド開催 (東京) .2021.10.10.	
国内学会発表	3	村野弥生, 東海林宏道, 久田研 清水俊明.	新型コロナウイルス陽性母体の母乳中のウイルス検出について.	第57回日本周産期・新生児医学会学術集会, ハイブリッド開催 (宮崎) .2021.7.13.	
国内学会発表	4	笠井悠里葉, 小松充孝, 遠山雄大, 中野沙季, 久田研, 新妻隆広, 大日方薫, 清水俊明.	複数施設による小児細菌性腸炎の病原微生物疫学と抗菌薬使用傾向の調査.	第124回日本小児科学会学術集会, ハイブリッド開催 (京都) .2021.4.16.	
国内学会発表	5	若盛ゆき音, 新妻隆広, 遠藤佳子, 米山俊之, 石川有希美, 嶋泰樹, 織田久之, 大日方薫, 清水俊明.	COVID-19が関連し消化器症状を呈した川崎病の1例.	第17回日本小児消化管感染症研究会, Web開催.2021.2.6.	
国内学会発表	6	三浦孝典, 畑中律敏, 緒方規男, 森野博文, たぎし英彰, 柴田穰, 柴田高, 大日方薫, 清水俊明, 山崎伸二	二酸化塩素のSARS-CoV-2に対する不活化効果と作用機序の検討	第17回日本小児消化管感染症研究会, Web開催.2021.2.6.	
区分	番号	講演者名	講演タイトル	学会名, 場所, 発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	久田研, 堀賢.	COVID-19の基礎から臨床まで COVID-19をどう防ぐ? 診療, 保育, 学校現場での対策.	第124回日本小児科学会学術集会, ハイブリッド開催 (京都) .2021.4.16-18.	
特別講演・招待講演	2	久田研, 清水俊明.	乳児の栄養と腸内細菌叢 低出生体重児における腸内細菌叢とプロバイオティクス.	第124回日本小児科学会学術集会, ハイブリッド開催 (京都) .2021.4.16-18.	
区分	番号	研究者名	活動の名称 (執筆, 出演, 受賞等)	執筆や出演の媒体 (賞の主催者等) ,年月日等	国際共同
その他 (広報活動を含む)	1	大日方薫.	二酸化塩素による院内感染予防の有用性.	ラジオNIKKEI (小児科診療UP-to- DATE) 2021年1月26日放送.	
その他 (広報活動を含む)	2	寒竹正人.	新型コロナウイルスから赤ちゃんを守りましょう.	順天堂大学附属練馬病院区民健康講座, Web開催.2021.4.24.	

その他 (広報活動を含む)	3		中澤友幸.	子どものCOVID-19 入院診療における課題.	厚生労働省母子保健医療対策総合支援事業 子どもの心の診療ネットワーク事業中央拠点病院主催研修会 「有事の際の子どもの心のケア」, Web開催.2021.9.10.	
その他 (広報活動を含む)	4		久田研.	新型コロナウイルス感染症流行下における小児診療と感染対策.	宮城県小児腸内マイクロバイオータ講演会, Web開催.2021.3.25.	